

令和3年度9月分

企画・財政関係

件名	若者の援助について
内容	<p>今のご時世給料も上がらず、奨学金の返済がきつくて生活することも難しいですし、また結婚することも難しいです。若者は子供を作らなければ、日本の経済、市場が大きく縮小することになり、今後の税収が少なり、国、県、市で様々なことが出来なくなると考えられます。日本の社会の構造的に海外とは違い、若者の給料は低いですし、会社によりますが、給料が上がる30～50歳になってからでは結婚したり、子供を作るのは難しいです。</p> <p>この若者の負のスパイラルを改善するために国、県、特に市が在学中の大学生だけではなく30歳までの若者に奨学金の返済の支援や住民税の免除、企業へのベースアップ支援、子供育成への手厚い支援など未来への投資を含めてどんどん取り組んでほしいと願っています。</p>
回答	<p>市長への手紙をいただきありがとうございます。</p> <p>また、日頃より市政への御理解、御協力を賜りありがとうございます。</p> <p>お寄せいただきました若者の援助についてお答えします。</p> <p>税収面も含めた人口構成の良好なバランスを維持していくには、人口減少をできる限り抑制するとともに、20歳代の若い世代の転出を抑制していくことが必要であると考えております。</p> <p>市の年齢別の人口動向をみると、20歳代については就職等をきっかけとして、転出超過が続いている状況にあることから、現在、市内に居住している若い世代が就職後も市内に住み続けてもらえるよう、令和3年度から若い世代定住促進支援金制度を創設し、大学等の進学時に借り入れた奨学金等の教育資金の返済の支援を行っています。</p> <p>この制度では、大学等の在学中に市内に居住し、就職後も定住する意思のある若い世代を支援対象者として大学等の在学中に認定した上で、実際に就職した後も市内に居住している場合に、一般的に市民税を負担し始める就職2年目から5年間又は30歳まで、大学等の進学時に借り入れた奨学金等の教育資金の返済の支援を行っています。</p> <p>教育資金の返済を支援し、経済的な負担の軽減を図ることで市内での生活の定着を図り、その後における中長期的な定住促進につなげていきたいと考えております。</p> <p>なお、いただいた御意見については、今後の市政の参考とさせていただきます。貴重な御意見ありがとうございました。</p> <p>(関係課：秘書課)</p>

件 名	アクセス特急の白井駅停車について
内 容	<p>少子高齢化に進むなかで白井市発展の鍵は、交通の利便性が大きな要因の一つと思います。交通の利便性向上としては、北総線の運賃問題、都心との時間短縮であるアクセス特急の白井駅停車、外環道と連結した北千葉道路の早期実現等が挙げられます。</p> <p>考える要因としては、都心へのアクセス時間、大規模商業施設の有無等が考えられますが、まずは都心へのアクセスを改善・時間短縮を図ることにより新規住民の増加、企業・商業誘致、更には税収の増加等、市の発展に繋がると思います。</p> <p>アクセス特急の白井駅停車は、一般に考えている以上に市の発展に影響、鍵を握っており、また当事者である白井市（及び住民）が主体的に京成電鉄、県及び関係省庁へ働きかけねばならず、ご多忙とは存じますが、アクセス特急の白井駅停車に向けた更なる広範囲な活動を優先課題として取り組んで頂くようお願い致します。</p>
回 答	<p>市長への手紙をいただきありがとうございます。</p> <p>また、日頃より市政への御理解、御協力を賜りありがとうございます。</p> <p>お寄せいただきました市長への手紙についてお答えします。</p> <p>御指摘のとおり、鉄道や道路といった都心などからのアクセスの利便性の向上は、市においても重要な課題として認識し、取り組んでいるところです。</p> <p>特に、北総鉄道に係る最重要課題の運賃問題につきましては、市民の皆様と市が丸となって取組を進めた結果、北総鉄道株式会社が運賃値下げの可能性の検討について着手しており、市においては、特に子育て世代の負担となっている通学定期の大幅な運賃値下げを中心に要望を続けています。</p> <p>一方、アクセス特急の白井駅への停車につきましては、市としても、市民の皆様の更なる利便性の向上や、白井市の発展に与える影響の重要性を十分理解し、アクセス特急を運行している京成電鉄への働きかけや、北総鉄道の株主総会において発言するなど要望を続けているところですが、残念ながらアクセス特急の市内駅停車の実現までは至っておりません。</p> <p>今後は、市においても、これまで以上に白井駅前や西白井駅前の活性化に向けた取組を進め、市への移住者や来訪者を増やすことで、鉄道利用者を増やせるよう努力するとともに、引き続き、アクセス特急の市内駅の停車に向けて、要望活動を行うなど働きかけを進めてまいりますので、御理解、御協力いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>（関係課：企画政策課、都市計画課）</p>